

ーワーク・ライフ・バランスの実現をめざしてー

「勤労者の生活の充実」に向けたニーズと 働き方についての意識調査の結果報告

2019年3月

公益社団法人 京都勤労者学園

はじめに

京都府の援助を得て、毎年公益社団法人京都勤労者学園が行っている「勤労者の意識調査」の今年度のテーマは、『勤労者の生活の充実』に向けたニーズと働き方についてです。連合京都、京都総評をはじめ京都府内の労働組合の協力を得て、傘下組合員を中心に実施し、昨年と同規模の回答用紙を回収し、集計することが出来ました。本冊子はこれをまとめたもので、今後、関係諸団体での活用を期待するところです。尚、集計、分析などはNPO法人京都社会労働問題研究所の協力を得て行いました。

なお、調査の概要は、

- 1、調査対象者：京都府内における労働組合の組合員
- 2、調査手法：労働組合を通じて職場の労働者 5,000 人にアンケート調査
- 3、調査時期：2018 年 10 月配布、11 月回収、回収枚数：2,197 人分

調査結果の概要

ワーク・ライフ・バランスの実現を目指して、「勤労者の生活の充実」に向けたニーズと働き方の実態を明らかにするために、標題の調査票による意識調査を実施しました。

回答者の属性について

対象者は、京都府内における労働組合の組合員 5000 人中、調査票調査に応じた者 2,197 名です。調査票は、連合京都・京都総評の傘下組合に協力依頼した労働組合を通じて組合員に配布し、回収しました（2018 年 10 月配布、11 月回収）。

性別回答が得られたケースは 2,070 名（94.2%）、年齢回答が得られたケースは 2,051 名（93.3%）でした。雇用形態は正社員が 1,958 名（89.1%）で、他に有期・契約社員、パート等が少数見られました。勤務時間は 9-10 時間が 43.7%、6-8 時間が 38.5%で、11 時間以上が 14.0%でした。

働く目的について

働く目的として「生活の維持・稼ぐ手段」をあげる例が 89.6%であり、次いで、「楽しい生活を送る・生活を豊かにする」がその半数程度（47.8%）でした。

残業よりも優先させることとして「家族・親戚の急な病気」（73.7%）をあげ、「介護・看護・育児・家事」（42.1%）、「自分の通院予約・治療」（30.4%）として、家族や自分の病気、育児介護などをあげています。

生活を充実させるためにしていること／したいこと

生活を充実させるために私的な時間に「今」していることをみると「家事」（46.1%）、「（デート、食事・飲み会等）他者と過ごす」（32.2%）、「育児」（21.1%）などとなっています。これに対して「今後」してみたいことは「スキルアップ学習」（22.4%）、「（デート、食事・飲み会等）他者と過ごす」（20.0%）「副業（小遣い稼ぎ程度）」（14.6%）などが続きました。

これを趣味・娯楽に限定して「今後」してみたいことをみると、「スポーツ・健康系（ウォーキング・フィットネス含む）」（32.4%）、「買い物、食べ歩き、街歩き、旅行」（31.3%）、「アウトドア系（自動車・バイク・自転車・釣り・キャンプ・山登り等）」（26.9%）などとなっています。

自己充実・成長のために自主学習は

自己充実や成長のための自己学習についてみると、「何もしていない」（40.2%）で最も多く、「趣味についての知識」（32.5%）が続きますが、その他は少数に留まっています。

育児介護などの担い方について

育児が必要になった際に主に担うのは、男性で「夫婦・家族で協力しあう」(46.6%)、「配偶者」(34.7%)ですが、女性で「自分」が49.1%と高率で、「夫婦・家族で協力しあう」(26.6%)が続いています。男性の側では「自分」(8.4%)とする例は少なく、女性の側では「配偶者」(2.1%)の例が少ないものとなっています。

介護が必要(今後)な場合に、主に担うのは、男性で「夫婦・家族で協力しあう」(48.8%)「自分」(22.3%)であった。女性では「自分」と指摘する例が48.8%と高率で、「夫婦・家族で協力しあう」(33.4%)がそれに続いています。

介護の支援サービスを「すべて利用する」が40.0%で「一部利用」(37.0%)とあわせ、7割以上が利用するとしています。

仕事と私生活のバランス

今の仕事と生活のバランスの状態についてみると、男女とも「仕事、家庭、私生活とものに優先」が43.2%と最多となっていますが、男性で「仕事優先」が3割を超え、特に、勤務時間が一日平均「11時間以上」の人では「仕事優先」が43.3%と多い事態が注目されます。

「今の働き方」については「普通」と「満足」傾向、「不満傾向」とにほぼ3等分されます。「私生活の時間の使い方」も同じようにほぼ3等分されます。

より充実した生活のために「今」必要だと思うこと(三個以内選択)についてみると、職場制度の面では「休日の増加」(34.0%)と「給与条件の改善」(33.8%)がそれぞれ3割を超えている。その他「職務分担や業務の見直し、効率化」(26.8%)「要員増」(25.0%)「残業時間の削減」(24.1%)と続きます。環境条件の面では「上司や同僚の理解・支援」(40.9%)、自分自身の意識改革」(38.3%)が指摘されています。

結論

ワーク・ライフ・バランスの実現を目指すとき、給与や休日など労働条件の改善、あるいは職務分担や要員体制、残業削減など働き方の改善が、依然として重要であることが明らかとなっています。その上で、生活の質を向上させたいとする勤労者の意欲を後押しする施策が期待されます。

- ワーク・ライフ・バランスの実現をめざして -

2018年度 「勤労者の生活の充実」に向けたニーズと働き方についての意識調査

調査団体：公社 京都勤労者学園（愛称：ラポール学園）

「勤労者の生活の充実」を考えると、仕事とキャリア、地域活動、社会・文化活動、そして育児・介護・看護・病気等も含めた私生活との均衡をどう保ち、どう人間らしく生きられるかが大きな課題です。そこで、「生活の充実」の視点から勤労者の生活の現状や本音、望みを探り、人間らしく生きるための仕事と生活のバランスの在り方を見直したいと考えます。このアンケートは、京都の職場で働く勤労者の皆様を対象に、労働組合や関係機関を通じてお願いしています。

ご回答いただいた内容は、行政の取組や各労働組合の活動、京都勤労者学園の事業に役立てる資料とするもので、それ以外の目的に使われることはありません。

（公社）京都勤労者学園（愛称：ラポール学園、ラポールはラテン語で「労働」の意）は、1957年に労働組合、大学教員等の学識経験者、京都府・京都市の協力によって設立され、京都市から勤労者教育に関する事業の実施を受託し、夜間の常設の各種学校である「京都労働学校」を運営しています。労働法、経営、哲学、日本史等の他、ビジネスマナー講座等資格取得の講座や英会話をはじめ語学、メンタルヘルスについての理解を深める講座等を開講しています。

※ 回答は、該当する選択肢の数字に○印をつけてください。

【問1】

性別：①男性 ②女性 ※答えたくない方は空白で結構です。

年齢：①10代 ②20代 ③30代 ④40代 ⑤50代 ⑥60代以上

就労形態：①正社員 ②短時間正社員 ③有期・契約社員 ④派遣社員

⑤パート・アルバイト ⑥その他（ ）

業種：①製造業 ②卸・小売業 ③運輸・建設業 ④情報通信業 ⑤公務
⑥教育・学習支援 ⑦医療・福祉 ⑧サービス業 ⑨その他（ ）

業務内容：①販売 ②事務 ③管理 ④専門・技術 ⑤運搬・清掃・包装等
⑥製造 ⑦建設 ⑧輸送・機械運転 ⑨サービス ⑩保安 ⑪農林漁業 ⑫その他（ ）

【問2】あなたの1日の平均勤務時間（休憩・残業を含む）はどれくらいですか。（1つに○）

- ① 5時間以下
② 6時間～8時間
③ 9時間～10時間
④ 11時間以上
⑤ その他（ ）

【問3】あなたの「働く目的」に一番近いものは何ですか。（3つ以内で○）

- ① 生活の維持・お金を稼ぐ手段
② 楽しい生活を送る・生活を豊かにする
③ 専門技術を身に付ける
④ 生きがい・やりがい
⑤ 社会参加
⑥ 社会貢献
⑦ 組織の発展に尽くす
⑧ 自分の能力を試す、活かす
⑨ 自分の成長のため、キャリア形成の手段
⑩ 出世、人の上に立つ
⑪ 起業に向けた修業
⑫ その他（ ）

【問4】残業を命じられた時、あなたが残業より優先させるものは何ですか。（3つ以内で○）

- ① 介護・看護・育児・家事
② 家族・親族の急な病気・ケガ対応
③ 自分の通院予約・治療
④ 地域の行事・会議
⑤ 労働組合・NPO・ボランティアの行事・会議
⑥ クラブ・サークル活動
⑦ 恋人との約束
⑧ 家族・友人との約束
⑨ 自分の研修・研鑽・稽古事等
⑩ 自分の趣味
⑪ 副業・兼業
⑫ 家業の手伝い
⑬ 特にない（残業を優先させる）

⑭ その他（ ）

【問5】あなたが勤務時間以外の私的な時間に、今時間を費やしていること、今後もっと私的な時間がとれるなら、生活を充実させるためにしてみたい/もっと時間を費やしたいことは何ですか。（それぞれの欄の該当する全てに○）

	「今」していること	したいこと
① 家事		
② 育児		
③ 介護・看護		
④ 通院		
⑤ 副業（小遣い稼ぎ程度）		
⑥ 兼業（Wワーク）		
⑦ 家業の手伝い		
⑧ 起業準備		
⑨ 地域活動（町内会・消防団・PTA等）		
⑩ 社会・文化活動（労働組合・NPO・ボランティア等）		
⑪ スキルアップのための学習（セミナー・研修受講等）		
⑫ 他者との会話（電話・email・チャット等）		
⑬ 他者と過ごす（デート、食事・飲み会等）		
⑭ 趣味・娯楽		
⑭-1 ネット上での投稿・発信（ブログ・HP・SNS等）		
⑭-2 作品等の制作（絵画・手芸・工芸・文芸・写真・音楽・映像等）		
⑭-3 自宅でのテレビ・ビデオ・音楽鑑賞・読書		
⑭-4 ガーデニング系（家庭菜園・盆栽等含）		
⑭-5 リラクゼーション系（エステ・マッサージ・温泉等）		
⑭-6 ネット等コンピューター機器上でのゲーム		
⑭-7 実際に盤を囲むゲーム（囲碁・将棋・麻雀等）		
⑭-8 稽古事・習い事（カルチャーセンター含）		
⑭-9 クラブ・サークル活動・イベント参加等		
⑭-10 買い物、食べ歩き、街歩き、旅行		
⑭-11 芸術・芸能・鑑賞、ライブ・コンサート		
⑭-12 スポーツ・健康系（ウォーキング・フィットネス含）		
⑭-13 アウトドア系（自動車・バイク・自転車・釣り・キャンプ・山登り等）		
⑭-14 競馬・競輪・競艇・パチンコ等		
⑭-15 特に何もせず身体を休める		
⑭-16 その他 具体的に記入ください []		

【問6】勤務時間以外の私的な時間に、今あなたが自己の充実や成長のために「自主的に」学習していることはありますか。（3つ以内で○）

- ① 語学
- ② 仕事に活かせる専門性・専門知識
- ③ 資格取得のための勉強
- ④ 一般教養を身に着ける
- ⑤ 趣味についての知識
- ⑥ 将来的な独立・起業・開業に向けた技能・知識
- ⑦ していない
- ⑧ その他（ ）

【問7】育児（孫含む）が必要な方/今後必要となった際に、主に育児を担うのは誰ですか。（1つに○）

- ① 自分
- ② 配偶者
- ③ 夫婦・家族で協力しあう
- ④ 親
- ⑤ その他（ ）

【問8】家族や親族に介護・看護の必要な方/今後必要となった際に；

イ 主に介護を担うのは誰ですか。（1つに○）

- ① 自分
- ② 配偶者
- ③ 夫婦・家族で協力しあう
- ④ 兄弟・子供
- ⑤ 施設に預ける
- ⑥ その他（ ）

ロ ヘルパー（訪問介護）、デイサービス・デイケア等の介護支援サービスは利用しますか。（1つに○）

- ① 利用可能なサービスは全て利用する
- ② 一部利用する
- ③ 利用したいが、本人が嫌がるので利用できない
- ④ 利用したくない
- ⑤ その他（ ）

【問9】あなたの今の仕事と私生活のバランスはどんな状態ですか。（1つに○）

- ① 「仕事」を優先
- ② 「家庭・私生活」を優先
- ③ 「地域・社会生活」を優先
- ④ 「仕事」と「家庭・私生活」をともに優先
- ⑤ 「仕事」と「地域・社会生活」をともに優先
- ⑥ 「家庭・私生活」と「地域・社会生活」をともに優先
- ⑦ 「仕事」と「家庭・私生活」と「地域・社会生活」のどれも大切にしている
- ⑧ その他（ ）

【問10】あなたは、今の働き方と私生活での時間の使い方に満足していますか。（それぞれの欄の該当する1つに○）

	今の働き方	私生活の時間の使い方
① 満足		
② やや満足		
③ 普通		
④ やや不満		
⑤ 不満		

【問11】あなたの私生活の現実と理想を合致させ、より充実した生活を送るために、働き方と私生活のバランスを調整する上で、あなたにとって「今」必要だと思うことは何ですか。（それぞれ3つ以内で○）

イ 職場の制度に求めること

- ① 残業時間の削減
- ② 休日の増加（特定休日、各種記念日休日、週休制の拡大）
- ③ 時間単位の有給休暇導入など、年次有給休暇制度の改善
- ④ 交代勤務の条件の改善
- ⑤ 短時間正社員制度の導入
- ⑥ 在宅ワーク・テレワーク制度等の導入
- ⑦ 非正規社員の正社員化
- ⑧ 給与条件・形態・体系等の改善
- ⑨ 実効性のある時間管理
- ⑩ 職務分担の見直し・業務の流れの見直し・効率化
- ⑪ 要員体制増
- ⑫ 副業・兼業の許可
- ⑬ 特にない

ロ 必要だと思う環境等

- ① 自分自身の意識改革
- ② 上司や同僚の理解・支援
- ③ 家族や親せきの理解・支援
- ④ 相談できる友人・仲間の理解・支援
- ⑤ 相談を受けてくれる機関の充実
- ⑥ 支援してくれる施設やサービスの充実
- ⑦ 補助金等その他、社会的支援制度の充実
- ⑧ 特にない

ハ その他必要だと思うこと

（ ）

***付加質問に対するご協力をお願い**

勤労者の教育や福祉の向上を目指す事業団体の認知度を知するため、以下の項目についてもご回答をお願いします。

京都府内には、勤労者の教育や福祉の向上を目指して下記の団体が様々な事業を展開していますが、この調査票を見る前からご存じでしたか。次の6項目から一つ選び、事業団体ごとにその番号を[]に記入してください。

① 事業を利用・活用している、又は、したことがある

② 知っていたが、事業を利用・活用したことはない、興味はある

③ 知ってはいるが、興味はない

④ 名前は聞いたことがあるが、事業内容等は知らない、興味はある

⑤ 名前も知らなかったが、興味はある

⑥ 名前も知らなかったし、興味もない

【事業団体名】

1) 京都勤労者学園(ラポール学園)

[]

2) 近畿ろうきん(労金)(近畿労働金庫)

[]

3) 全労済(全国労働者共済生活協同組合連合会)

[]

4) 労福協(京都労働者福祉協議会)

[]

5) 京都労働者総合会館(ラポール京都)

[]

6) (有)エル・ユニオン京都／Ｌユニオンラベル京都

[]

★ ご協力ありがとうございました

5

回答者の属性

回答者の総数は 2,197 人で、内男性は 1,730 人で、78.8%を占めています。女性は 338 人（15.4%）です。年代別の分布をみると、男性では 30 代が最も多く 28.9%を占め、次いで 40 代が 27.7%で、20 代、50 代が共に 18%台後半です。60 代以降では 4.4%にとどまります。女性では 40 代が最も多く 27.8%、次いで 20 代が 23.4%、子育て盛りの 30 代は 22.2%に留まっています。

雇用形態別では、正社員が 89.1%と圧倒的で、特に男性では 91.3%が正社員です。女性では正社員は 81.3%で、有期・契約社員、派遣、パート・バイトなども一定の割合を占めています。20 代から 50 代にかけてはほとんどが正社員で、有期・契約社員の大半が 60 代です。

業種別には、製造業が 4 割近くを占め、次いで運輸・建設関係が 18.3%、その他、公務、サービス業がそれぞれ 1 割前後という分布になっています。製造業では男性での比率が高く、公務で女性の比率が高く、運輸・建設では男性の比率が高くなっています。業務内容別では、男性で専門・技術職（25.5%）、製造現場（19.2%）が多く、次いで事務職（16.6%）、輸送・運転（9.8%）と続きます。女性では、事務職が 4 割（41.1%）を占めます。このように、回答者の内訳では、男性が 8 割近くを占め、年代では 30、40 代が 55%、雇用形態では正社員が 9 割近くになり、業種では製造業、運輸・建設関係で 65%を占めるという構成になっています。

表—1 回答者の属性①(性別、年代別)

	男性		女性		白紙		合計	
	人	%	人	%	人	%	人	%
10 代	10	0.6	4	1.2	3	2.4	17	0.8
20 代	326	18.8	79	23.4	20	15.7	425	19.3
30 代	501	28.9	75	22.2	20	15.7	596	27.1
40 代	480	27.7	94	27.8	36	28.3	610	27.8
50 代	322	18.6	63	18.6	24	18.9	409	18.6
60 代	77	4.4	20	5.9	13	10.2	110	5.0
白紙	16	0.9	3	0.9	11	8.7	30	1.4
合計	1732	100.0	338	100.0	127	100.0	2197	100.0
男女比		78.8		15.4				

表—2 回答者の属性②(就業形態別)

	正社員		短時間 正社員		有期・ 契約社員		派遣		パート・ バイト		その他		白紙		合 計	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
男性	1582	91.3	1	0.1	69	4.0	4	0.2	15	0.9	17	1.0	44	2.5	1732	100.0
女性	275	81.4	2	0.6	31	9.2	6	1.8	9	2.7	7	2.1	8	2.4	338	100.0
白紙	101	79.5	0	0.0	8	6.3	0	0.0	7	5.5	1	0.8	10	7.9	127	100.0
合計	1958	89.1	3	0.1	108	4.9	10	0.5	31	1.4	25	1.1	62	2.8	2197	100.0

表—3 回答者の属性③(業種別)

	男性		女性		白紙		合計	
	人	%	人	%	人	%	人	%
製造業	749	43.2	102	30.2	22	17.3	873	39.7
卸・小売業	27	1.6	14	4.1	5	3.9	46	2.1
運輸・建設	371	21.4	17	5.0	14	11.0	402	18.3
情報・通信	89	5.1	16	4.7	6	4.7	111	5.1
公務	109	6.3	79	23.4	12	9.4	200	9.1
教育・学習支援	23	1.3	10	3.0	2	1.6	35	1.6
医療・福祉	2	0.1	1	0.3	0	0.0	3	0.1
サービス業	151	8.7	40	11.8	8	6.3	199	9.1
その他	177	10.2	31	9.2	31	24.4	239	10.9
白紙	34	2.0	28	8.3	27	21.3	89	4.1
合計	1732	100.0	338	100.0	127	100.0	2197	100.0

表—4 回答者の属性④(業務内容別)

	男性		女性		白紙		合計	
	人	%	人	%	人	%	人	%
販売	94	5.4	27	8.0	5	3.9	126	5.7
事務	288	16.6	139	41.1	18	14.2	445	20.3
管理	77	4.4	31	9.2	4	3.1	112	5.1
専門・技術	442	25.5	37	10.9	12	9.4	491	22.3
運搬・清掃・包装	38	2.2	5	1.5	4	3.1	47	2.1
製造	332	19.2	23	6.8	13	10.2	368	16.8
建設	7	0.4	0	0.0	0	0.0	7	0.3
輸送・運転	169	9.8	6	1.8	11	8.7	186	8.5
サービス	80	4.6	11	3.3	1	0.8	92	4.2
保安	6	0.3	0	0.0	0	0.0	6	0.3
農林漁業	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
その他	59	3.4	22	6.5	28	22.0	109	5.0
白紙	140	8.1	37	10.9	31	24.4	208	9.5
合計	1732	100.0	338	100.0	127	100.0	2197	100.0

調査の結果

はじめに

今回の調査は、「働き方改革」を職場で推進する上で、法制度の改正や企業で取り組む社内制度、システムの改善とともに、働く側からのニーズはどのようなものであるかを探るための意識アンケートです。そもそも「ワーク・ライフ・バランス」の実現が勤労者の目指すものとしてどの程度位置づけられ、その実現のための「働き方」についての課題はどのように認識されているのか、「充実した生活」にはどのようなイメージが描かれているのか、などの意識を把握し、「あるべき生活」ビジョンをより豊かにするための方策などの検討材料に活用できないかと考えて実施したものです。

1、1日の勤務時間、9～10時間が最多

問2で、「残業を含む1日の平均的勤務時間」を尋ねましたが、「9～10時間」、すなわち「1～2時間の残業」という人が全体では43.7%、男性では47.6%を占めて最多です。「6～8時間」、すなわち「定時あがり」の人は全体では38.5%ですが、女子では62.7%を占めます。また、男性では「11時間以上」が15.3%にものぼり、月60時間以上の残業をしている人がかなりの割合で存在するということです。もちろん、交替勤務、変則勤務で労働日は少なく、週3～4日労働という人もおられるでしょうが、長時間労働の実態がみられます。「9～10時間」及び「11時間以上」の合計では、20代、30代、40代で6割を占めます。

この勤務時間を業種別にみると、1日「11時間以上」が二桁の比率を占める業種は「製造業」「運輸・建設」「教育・学習」の業種で、特に「運輸・建設」では34.8%に達します。

業務内容別には、「輸送・運転」で「11時間以上」が48.4%、「運搬・清掃」で29.8%と、運輸関係で1日の勤務時間が長いようです。

表—5 問2、貴方の1日の平均勤務時間は(性別)

	男性		女性		白紙		合計	
	人	%	人	%	人	%	人	%
①5時間以下	42	2.4	12	3.6	14	11.0	68	3.1
②6～8時間	589	34.0	212	62.7	44	34.6	845	38.5
③9～10時間	825	47.6	96	28.4	40	31.5	961	43.7
④11時間以上	265	15.3	16	4.7	26	20.5	307	14.0
⑤その他	6	0.3	1	0.3	1	0.8	8	0.4
白紙	5	0.3	1	0.3	2	1.6	8	0.4
合計	1732	100.0	338	100.0	127	100.0	2197	100.0

表—6 問2、貴方の1日の平均勤務時間は(年代別)

	10代		20代		30代		40代		50代		60代		白紙		合計	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
①5時間以下	4	23.5	7	1.6	14	2.3	21	3.4	12	2.9	10	9.1	0	0.0	68	3.1
②6～8時間	5	29.4	167	39.3	217	36.4	202	33.1	170	41.6	74	67.3	10	33.3	845	38.5
③9～10時間	5	29.4	198	46.6	286	48.0	290	47.5	161	39.4	9	8.2	12	40.0	961	43.7
④11時間以上	3	17.6	53	12.5	78	13.1	95	15.6	66	16.1	6	5.5	6	20.0	307	14.0
⑤その他	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	0.3	0	0.0	5	4.5	1	3.3	8	0.4
白紙	0	0.0	0	0.0	1	0.2	0	0.0	0	0.0	6	5.5	1	3.3	8	0.4
合計	17	100.0	425	100.0	596	100.0	610	100.0	409	100.0	110	100.0	30	100.0	2197	100.0

表—7 問2、貴方の1日の平均勤務時間は(就労形態別)

	正社員		短時間 正社員		有期・契約 社員		派遣社員		パート		その他		白紙		合計	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
①5時間以下	48	2.5	0	0.0	5	4.6	4	40.0	5	16.1	1	4.0	5	8.1	68	3.1
②6～8時間	700	35.8	2	66.7	80	74.1	4	40.0	19	61.3	11	44.0	29	46.8	845	38.5
③9～10時間	912	46.6	1	33.3	16	14.8	2	20.0	7	22.6	3	12.0	20	32.3	961	43.7
④11時間以上	294	15.0	0	0.0	7	6.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	6	9.7	307	14.0
⑤その他	2	0.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	5	20.0	1	1.6	8	0.4
白紙	2	0.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	5	20.0	1	1.6	8	0.4
合計	1958	100.0	3	100.0	108	100.0	10	100.0	31	100.0	25	100.0	62	100.0	2197	100.0

表—8 問2、貴方の1日の平均勤務時間は(業種別)

	製造業		卸・小売業		運輸・建設		情報・通信		公務		教育・学習		医療・福祉		サービス業		その他		白紙	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
①5時間以下	12	1.4	1	2.2	20	5.0	4	3.6	3	1.5	3	8.6	0	0.0	4	2.0	16	6.7	5	5.6
②6～8時間	262	30.0	28	60.9	119	29.6	74	66.7	107	53.5	17	48.6	3	100.0	96	48.2	106	44.4	33	37.1
③9～10時間	485	55.6	16	34.8	123	30.6	33	29.7	78	39.0	10	28.6	0	0.0	86	43.2	101	42.3	29	32.6
④11時間以上	112	12.8	1	2.2	140	34.8	0	0.0	12	6.0	5	14.3	0	0.0	13	6.5	12	5.0	12	13.5
⑤その他	1	0.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	3	1.3	4	4.5
白紙	1	0.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.4	6	6.7
合計	873	100.0	46	100.0	402	100.0	111	100.0	200	100.0	35	100.0	3	100.0	199	100.0	239	100.0	89	100.0

2、「働く目的」は「生活」

「働く目的」について聴いたところ(複数選択可)、「生活の維持・稼ぐ手段」をあげ

る人は 89.6%と 9 割近くに及びます。「楽しい生活・生活を豊かにするため」も 47.8% ありますが、選択肢としての区別には余り意味がなく、要するに「生活のため」であり、「生活」の中身は各人の「生活感」によって違うとみるべきでしょう。それ以外では、「生きがい・やりがい」(13.0%)、「自分の成長、キャリア形成」(10.6%)と、二ケタ ありますが、それ以外は 1 割未満にとどまっています。ただ、女性では「生活のため」の次には「社会参加」(17.5%)も一定の割合を占めています。

表—9 問3、あなたの「働く目的」に近いものは(性別・年代別)

	10代		20代		30代		40代		50代		60代以上		白紙		合計		男性		女性		白紙	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
①生活の維持・稼ぐ手段	10	58.8	374	88.0	544	91.3	547	89.7	385	94.1	85	77.3	24	80.0	1969	89.6	1565	90.4	313	92.6	91	71.7
②楽しい生活・豊かに	7	41.2	179	42.1	276	46.3	315	51.6	220	53.8	43	39.1	11	36.7	1051	47.8	833	48.1	171	50.6	47	37.0
③専門技術を身につける	0	0.0	32	7.5	45	7.6	29	4.8	16	3.9	5	4.5	1	3.3	128	5.8	111	6.4	11	3.3	6	4.7
④生きがい・やりがい	1	5.9	43	10.1	82	13.8	81	13.3	59	14.4	14	12.7	6	20.0	286	13.0	226	13.0	50	14.8	10	7.9
⑤社会参加	0	0.0	40	9.4	49	8.2	51	8.4	36	8.8	18	16.4	3	10.0	197	9.0	124	7.2	59	17.5	14	11.0
⑥社会貢献	1	5.9	44	10.4	49	8.2	51	8.4	28	6.8	10	9.1	2	6.7	185	8.4	150	8.7	22	6.5	13	10.2
⑦組織の発展に尽くす	0	0.0	8	1.9	18	3.0	26	4.3	16	3.9	4	3.6	0	0.0	72	3.3	60	3.5	6	1.8	6	4.7
⑧自分の能力を活かす	2	11.8	36	8.5	50	8.4	42	6.9	35	8.6	9	8.2	2	6.7	176	8.0	145	8.4	23	6.8	8	6.3
⑨自分の成長、キャリア形成	3	17.6	75	17.6	79	13.3	53	8.7	19	4.6	0	0.0	3	10.0	232	10.6	186	10.7	35	10.4	11	8.7
⑩出世、人の上に立つ	0	0.0	10	2.4	10	1.7	4	0.7	2	0.5	2	1.8	2	6.7	30	1.4	26	1.5	0	0.0	4	3.1
⑪起業に向けた修業	0	0.0	5	1.2	3	0.5	4	0.7	2	0.5	1	0.9	0	0.0	15	0.7	13	0.8	0	0.0	2	1.6
⑫その他	0	0.0	2	0.5	4	0.7	3	0.5	2	0.5	4	3.6	0	0.0	15	0.7	12	0.7	3	0.9	0	0.0
白紙	1	5.9	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.2	6	5.5	1	3.3	9	0.4	7	0.4	1	0.3	1	0.8
合計	17	100.0	425	100.0	596	100.0	610	100.0	409	100.0	110	100.0	30	100.0	2197	100.0	1732	100.0	338	100.0	127	100.0

3、残業より優先させるものは「家族の病気・ケガ対応」

問4では「残業を命じられたとき、それに優先させるものは何か」を聴きました。残業は所定内労働時間における勤務より、拘束性や帰属性などにおいて若干劣位に認識されていると思われますが、残業に優先して私生活上の用事を入れるのはそう簡単ではないようです。それでも残業に優先させるものとして「家族・親戚の急な病気・ケガ対応」では残業に優先させるという人は男女ともに 74.9%のぼります。次に多いのは「介護・看護・育児・家事」(42.1%)で、女性の場合は5割を超えます(52.4%)。次には「自分の通院・治療」(30.4%)、「家族・友人との約束」(27.1%)、「自分の趣味」(11.1%)と続きます。家族や友人との約束があっても、「ゴメン、残業が入った」と断りのメール

やラインが飛び交う様が目に浮かぶようです。用事の切実性や重要度合にもよりますし、残業業務の内容や位置づけによっても一様にはいかないものもあるでしょう。年代によっても異なります。40代、50代では「家族的用事」や「自分の通院・治療」(29.7%, 39.9%)の場合に優先するという人の割合が相対的には高く、若年層では「家族・友人との約束」や「恋人との約束」「自分の趣味」を優先するという人の割合がそれぞれ2割前後あり、生活感も読み取ることが出来ます。

表—10 問4、あなたが残業より優先させるものは？(性別・年代別)

	男性		女性		白紙		合計		10代		20代		30代		40代		50代		60代	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
①介護・看護・育児・家事	705	40.7	177	52.4	44	34.6	926	42.1	3	17.6	145	34.1	259	43.5	280	45.9	179	43.8	48	43.6
②家族・親戚の急な病気	1298	74.9	253	74.9	69	54.3	1620	73.7	7	41.2	303	71.3	447	75.0	472	77.4	313	76.5	59	53.6
③自分の通院予約・治療	519	30.0	116	34.3	33	26.0	668	30.4	6	35.3	117	27.5	163	27.3	181	29.7	163	39.9	30	27.3
④地域の行事・会議	121	7.0	6	1.8	6	4.7	133	6.1	1	5.9	13	3.1	31	5.2	53	8.7	26	6.4	9	8.2
⑤労働組合・NPOの行事・会議	138	8.0	8	2.4	8	6.3	154	7.0	0	0.0	19	4.5	58	9.7	35	5.7	32	7.8	8	7.3
⑥クラブ・サークル活動	43	2.5	3	0.9	7	5.5	53	2.4	1	5.9	15	3.5	16	2.7	10	1.6	5	1.2	4	3.6
⑦恋人との約束	92	5.3	20	5.9	16	12.6	128	5.8	1	5.9	68	16.0	28	4.7	17	2.8	10	2.4	3	2.7
⑧家族・友人との約束	496	28.6	72	21.3	27	21.3	595	27.1	3	17.6	117	27.5	182	30.5	151	24.8	107	26.2	26	23.6
⑨自分の研修・研鑽	23	1.3	12	3.6	1	0.8	36	1.6	0	0.0	9	2.1	12	2.0	5	0.8	8	2.0	1	0.9
⑩自分の趣味	204	11.8	29	8.6	10	7.9	243	11.1	2	11.8	64	15.1	68	11.4	66	10.8	29	7.1	12	10.9
⑪副業・兼業	6	0.3	1	0.3	1	0.8	8	0.4	1	5.9	2	0.5	1	0.2	2	0.3	2	0.5	0	0.0
⑫家業の手伝い	12	0.7	2	0.6	6	4.7	20	0.9	0	0.0	0	0.0	6	1.0	8	1.3	3	0.7	2	1.8
⑬特になし、残業優先	163	9.4	25	7.4	10	7.9	198	9.0	2	11.8	41	9.6	41	6.9	57	9.3	37	9.0	18	16.4
⑭その他	7	0.4	1	0.3	0	0.0	8	0.4	0	0.0	2	0.5	2	0.3	1	0.2	2	0.5	1	0.9
白紙	11	0.6	4	1.2	2	1.6	17	0.8	0	0.0	0	0.0	1	0.2	2	0.3	4	1.0	9	8.2
合計	1732	100.0	338	100.0	127	100.0	2197	100.0	17	100.0	425	100.0	596	100.0	610	100.0	409	100.0	110	100.0

4、今、時間を費やしていること——「家事」「他者と過ごす」「育児」

趣味・娯楽では「自宅でTV、読書・・・」「買い物・グルメ」「スポーツ」

今後、費やしたいこと——「スキルアップ学習」「他者と過ごす」「副業」

趣味・娯楽では「スポーツ」「買い物・グルメ」「アウトドア系」

問5では勤務時間以外で時間を費やしていることは何か、を聴きました。全体では「家事」をあげる人が最も多く46.1%を占め、特に女性では67.8%と、その比重の重さを示しています。

次いで多いのは、「他者と過ごす」(32.2%)で、女性(45.9%)や20代(50.1%)で特に高いものとなっています。デートや食事・飲み会などで、若い世代での特徴が表れているようです。50、60代では「通院」や「地域活動」「社会・文化活動」が2割

前後の割合を占めています。趣味・娯楽では、「自宅でのテレビ・ビデオ・読書」(54.8%)、「買い物・食べ歩き・旅行」(36.7%)、「スポーツ」(27.6%)、「体を休める」(24.7%)と続きます。この傾向は性別、年代によって大きな違いはなく、共通した傾向です。ただ、女性では「スポーツ」よりも「芸術・芸能鑑賞、ライブ・コンサート」の方が高い割合になっています。また、若年層、特に20代では一人あたりの選択数が多く、活動的であることが示されています。

これを勤務時間別にみると、平均勤務時間が短いほど選択数が多く活動的であるということです。勤務時間「6～8時間」の人では一人あたりの選択数が2.65個ありますが、勤務時間「11時間以上」の人では2.25個にとどまり、勤務時間外に費やしていることが少ないことを示しています。

5、ライフ＝私的自由時間ならず

今後、勤務時間以外で時間を費やしたいこととしては、家事や育児、通院などから解放されて、「やりたいこと」が多様に膨らんでくるようです。今費やしていることと今後費やしたいことでは大きな変化が見られます。「家事」や「育児」「自宅でのテレビ・読書」「通院」「他者と過ごす」「コンピューターゲーム」「体を休める」など、義務的用事や休息、癒しにつながる行為が、今費やしている行動の上位を占めていますが、今後の希望行動としてはそれぞれ激減し、代わって「スキルアップ学習」「副業」「兼業」「稽古・習い事」「スポーツ」「アウトドア系」「リラクゼーション」などが上位を占めています。内容も多種多様であるとともに、活動的でチャレンジする気持ちが表れています。

表—11 問5、勤務時間以外の時間に費やしていること、今後費やしたいこと

	男性		女性		白紙		合計	
	人	%	人	%	人	%	人	%
①家事	731	42.2	229	67.8	53		1013	46.1
	190	11	42	12.4	17		249	11.3
	56	7.7	28	8.3	8		92	4.2
②育児	371	21.4	73	21.6	19		463	21.1
	210	12.1	39	11.5	11		260	11.8
	67	3.9	12	3.6	4.0		83	3.8
③介護・看護	93	5.4	29	8.6	12		134	6.1
	111	6.4	18	5.3	7		136	6.2
	2	0.1	3	0.9	1		6	0.3
④通院	250	14.4	73	21.6	14		337	15.3
	104	6	18	5.3	8		130	5.9
	8	0.5	4	1.2	1		13	0.6
⑤副業	35	2	5	1.5	1		41	1.9
	267	15.4	42	12.4	12		321	14.6
	1	0.1	3	0.9	0		4	0.2
⑥兼業	16	0.9	0	0.0	1		17	0.8
	155	8.9	22	6.5	5		182	8.3
	1	0.1	0	0.0	0		1	0.1
⑦家業の手伝い	116	6.7	9	2.7	8		133	6.1
	97	5.6	10	3.0	5		112	5.1
	7	0.4	1	0.3	1		9	0.4
⑧起業準備	17	1	2	0.6	0		19	0.9
	108	6.2	9	2.7	6		123	5.6

	1	0.1	1	0.3	0		2	0.1
⑨地域活動	209	12.1	38	11.2	10		257	11.7
	115	6.6	18	5.3	10		143	6.5
	9	0.5	1	0.3	1		11	0.5
⑩社会・文化活動	262	15.1	40	11.8	9		311	14.2
	139	8	30	8.9	13		182	8.3
	13	0.8	4	1.2	1		18	0.8
⑪スキルアップ学習	110	6.4	24	7.1	3		137	6.2
	390	22.5	86	25.4	17		493	22.4
	29	1.7	8	2.4	2		39	1.8
⑫電話等他者との会話	287	16.6	96	28.4	14		397	18.1
	133	7.7	31	9.2	9		173	7.9
	33	1.9	15	4.4	3		51	2.3
⑬他者と過ごす	521	30.1	155	45.9	31		707	32.2
	344	19.9	75	22.2	20		439	20.0
	87	5	36	10.7	2		125	5.7

趣味・娯楽

1 ネット上での投稿	187	10.8	38	11.2	9		234	10.7
	96	5.5	15	4.4	7		118	5.4
	12	0.7	8	2.4	0		20	0.9
2 絵画等作品制作	89	5.1	18	5.3	8		115	5.2
	168	9.7	57	16.9	11		236	10.7
	9	0.5	2	0.6	0		11	0.5
3 自宅でのテレビ・読書	977	56.4	191	56.5	35		1203	54.8
	309	17.8	80	23.7	16		405	18.4
	129	7.4	40	11.8	4		173	7.9
4 家庭菜園・盆栽	93	5.4	23	6.8	6		122	5.6
	162	9.4	45	13.3	13		220	10.0
	14	0.8	1	0.3	1		17	0.8
5 リラクゼーション	99	5.7	58	17.2	12		169	7.7
	266	15.4	114	33.7	15		395	18.0
	10	0.6	12	3.6	1		23	1.0
6 コンピューターゲーム	366	21.1	55	16.3	14		435	19.8
	155	8.9	20	5.9	8		183	8.3
	41	2.4	7	2.1	2		50	2.3
7 囲碁・将棋・麻雀	38	2.2	4	1.2	2		44	2.0
	142	8.2	16	4.7	6		164	7.5
	7	0.4	1	0.3	1		9	0.5
8 稽古・習い事	39	2.3	40	11.8	6		85	3.9
	210	12.1	115	34.0	13		338	15.4
	8	0.5	16	4.7	1		25	1.1
9 サークル活動	201	11.6	27	8.0	8		236	10.7
	257	14.8	42	12.4	6		305	13.9
	35	2	8	2.4	1		44	2.0
10 買い物・グルメ・旅行	597	34.5	178	52.7	31		806	36.7
	532	30.7	123	36.4	33		688	31.3
	115	6.6	45	13.3	7		167	7.6
11 芸能、コンサート	212	12.2	89	26.3	9		310	14.1
	270	15.6	90	26.6	17		377	17.2
	35	2	19	5.6	1		55	2.5
12 スポーツ	510	29.4	73	21.6	24		607	27.6
	566	32.7	123	36.4	22		711	32.4
	111	6.4	26	7.7	3		140	6.4
13 アウトドア・釣りなど	382	22.1	32	9.5	13		427	19.4
	503	29	65	19.2	22		590	26.9
	82	4.7	8	2.4	4		94	4.3
14 競馬・競輪・パチンコ	233	13.5	10	3.0	11		254	11.6
	131	7.6	14	4.1	6		151	6.9
	27	1.6	3	0.9	2		32	1.5
15 身体を休める	444	25.6	85	25.1	13		542	24.7
	307	17.7	74	21.9	17		398	18.1
	78	4.5	24	7.1	5		107	4.9
16 その他	16	0.6	0	0.0	0		16	0.7
	10						10	0.5

1732 100.0 338 100.0 127 100.0 2197 100.0

上段は今、時間を費やしているとした人

中段は今後、時間を費やしたいとする人

下段はその内、今も費やし、今後も費やしたいとする人

表—12 問5、勤務時間以外に時間を費やしていることは(年代別)

	10代		20代		30代		40代		50代		60代		合計	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
①家事	2	11.8	159	37.4	314	52.7	294	48.2	183	44.7	48	43.6	1013	46.1
	1	5.9	58	13.6	83	13.9	63	10.3	28	6.8	9	8.2	249	11.3
②育児	0	0.0	36	8.5	196	32.9	183	30.0	42	10.3	1	0.9	463	21.1
	0	0.0	63	14.8	106	17.8	56	9.2	24	5.9	6	5.5	260	11.8
③介護・看護	0	0.0	1	0.2	14	2.3	36	5.9	65	15.9	15	13.6	134	6.1
	0	0.0	30	7.1	24	4.0	46	7.5	27	6.6	5	4.5	136	6.2
④通院	0	0.0	18	4.2	62	10.4	114	18.7	105	25.7	32	29.1	337	15.3
	1	5.9	29	6.8	39	6.5	34	5.6	20	4.9	4	3.6	130	5.9
⑤副業	0	0.0	3	0.7	15	2.5	13	2.1	8	2.0	1	0.9	41	1.9
	3	17.6	90	21.2	93	15.6	75	12.3	46	11.2	7	6.4	321	14.6
⑥兼業	0	0.0	3	0.7	2	0.3	3	0.5	6	1.5	1	0.9	17	0.8
	1	5.9	52	12.2	49	8.2	43	7.0	30	7.3	3	2.7	182	8.3
⑦家業の手伝い	0	0.0	19	4.5	24	4.0	54	8.9	30	7.3	5	4.5	133	6.1
	1	5.9	32	7.5	21	3.5	34	5.6	18	4.4	3	2.7	112	5.1
⑧起業準備	0	0.0	2	0.5	4	0.7	6	1.0	6	1.5	0	0.0	19	0.9
		0.0	29	6.8	26	4.4	36	5.9	26	6.4	3	2.7	123	5.6
⑨地域活動	0	0.0	12	2.8	52	8.7	99	16.2	71	17.4	19	17.3	257	11.7
		0.0	28	6.6	26	4.4	43	7.0	30	7.3	11	10.0	143	6.5
⑩社会・文化活動	0	0.0	32	7.5	97	16.3	102	16.7	54	13.2	23	20.9	311	14.2
	1	5.9	26	6.1	37	6.2	62	10.2	37	9.0	15	13.6	182	8.3
⑪スキルアップ学習		0.0	33	7.8	49	8.2	35	5.7	15	3.7	3	2.7	137	6.2
	2	11.8	119	28.0	136	22.8	138	22.6	74	18.1	14	12.7	493	22.4
⑫電話等他者との会話	5	29.4	133	31.3	118	19.8	90	14.8	39	9.5	8	7.3	397	18.1
	1	5.9	51	12.0	39	6.5	39	6.4	30	7.3	7	6.4	173	7.9
⑬他者と過ごす	6	35.3	213	50.1	196	32.9	164	26.9	104	25.4	18	16.4	707	32.2
	4	23.5	104	24.5	138	23.2	98	16.1	71	17.4	16	14.5	439	20.0

趣味・娯楽

1 ネット上での投稿	5	29.4	78	18.4	62	10.4	50	8.2	32	7.8	2	1.8	234	10.7
	1	5.9	29	6.8	22	3.7	35	5.7	21	5.1	7	6.4	118	5.4
2 絵画等作品制作		0.0	30	7.1	33	5.5	24	3.9	19	4.6	7	6.4	115	5.2
	1	5.9	47	11.1	62	10.4	58	9.5	49	12.0	13	11.8	236	10.7
3 自宅でのテレビ・読書	9	52.9	272	64.0	314	52.7	323	53.0	220	53.8	53	48.2	1203	54.8
	2	11.8	82	19.3	128	21.5	115	18.9	60	14.7	12	10.9	405	18.4
4 家庭菜園・盆栽		0.0	11	2.6	19	3.2	40	6.6	38	9.3	14	12.7	122	5.6
	2	11.8	27	6.4	46	7.7	73	12.0	52	12.7	13	11.8	220	10.0
5 リラクゼーション		0.0	31	7.3	37	6.2	56	9.2	38	9.3	5	4.5	169	7.7
	3	17.6	89	20.9	99	16.6	114	18.7	73	17.8	10	9.1	395	18.0
6 コンピュータゲーム	5	29.4	128	30.1	140	23.5	109	17.9	44	10.8	5	4.5	435	19.8
	1	5.9	47	11.1	63	10.6	43	7.0	20	4.9	3	2.7	183	8.3
7 囲碁・将棋・麻雀		0.0	16	3.8	11	1.8	13	2.1	0	0.0	2	1.8	44	2.0
	1	5.9	43	10.1	35	5.9	45	7.4	34	8.3	3	2.7	164	7.5
8 稽古・習い事	1	5.9	9	2.1	23	3.9	25	4.1	20	4.9	6	5.5	85	3.9

	0	0.0	59	13.9	84	14.1	97	15.9	76	18.6	14	12.7	338	15.4
9 サークル活動	2	11.8	78	18.4	60	10.1	54	8.9	23	5.6	12	10.9	236	10.7
	0	0.0	85	20.0	80	13.4	75	12.3	48	11.7	13	11.8	305	13.9
10 買い物・グルメ・旅行		0.0	185	43.5	213	35.7	237	38.9	130	31.8	32	29.1	806	36.7
	8	47.1	119	28.0	203	34.1	172	28.2	142	34.7	31	28.2	688	31.3
11 芸能、コンサート	1	5.9	69	16.2	81	13.6	80	13.1	61	14.9	15	13.6	310	14.1
	3	17.6	88	20.7	91	15.3	94	15.4	74	18.1	20	18.2	377	17.2
12 スポーツ	3	17.6	143	33.6	148	24.8	176	28.9	100	24.4	29	26.4	607	27.6
	4	23.5	127	29.9	216	36.2	213	34.9	119	29.1	26	23.6	711	32.4
13 アウトドア・釣りなど	2	11.8	87	20.5	97	16.3	133	21.8	84	20.5	21	19.1	427	19.4
	4	23.5	132	31.1	142	23.8	184	30.2	100	24.4	21	19.1	590	26.9
14 競馬・競輪・パチンコ	3	17.6	48	11.3	73	12.2	70	11.5	50	12.2	5	4.5	254	11.6
	2	11.8	28	6.6	37	6.2	51	8.4	25	6.1	5	4.5	151	6.9
15 身体を休める	9	52.9	117	27.5	139	23.3	169	27.7	87	21.3	16	14.5	542	24.7
	0	0.0	84	19.8	139	23.3	113	18.5	48	11.7	9	8.2	398	18.1
16 その他													16	0.7
	0												10	0.5
	17		425		596		610		409		110		2197	

上段は今、時間を費やしていること

下段は今後、時間を費やしたいこと

表—13 問5、勤務時間以外に時間を費やしていることは(業種別)

	製造業		卸・小売業		運輸・建設		情報・通信		公務		教育・学習		医療・福祉		サービス業		その他		合計	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
①家事	381	43.6	25	54.3	182	45.3	48	43.2	121	60.5	24	68.6	2		95	47.7	93	38.9	1013	46.1
	107	12.3	4	8.7	37	9.2	12	10.8	24	12.0	2	5.7	1		22	11.1	29	12.1	249	11.3
②育児	207	23.7	5	10.9	78	19.4	10	9.0	49	24.5	12	34.3	0		40	20.1	50	20.9	463	21.1
	125	14.3	5	10.9	41	10.2	7	6.3	26	13.0	2	5.7	0		21	10.6	22	9.2	260	11.8
③介護・看護	37	4.2	2	4.3	34	8.5	7	6.3	13	6.5	2	5.7	0		15	7.5	11	4.6	134	6.1
	49	5.6	1	2.2	41	10.2	5	4.5	6	3.0	2	5.7	0		15	7.5	12	5.0	136	6.2
④通院	116	13.3	4	8.7	61	15.2	29	26.1	35	17.5	12	34.3	0		39	19.6	24	10.0	337	15.3
	64	7.3	2	4.3	28	7.0	1	0.9	5	2.5	2	5.7	0		11	5.5	9	3.8	130	5.9
⑤副業	14	1.6	2	4.3	12	3.0	0	0.0	3	1.5	1	2.9	0		4	2.0	3	1.3	41	1.9
	157	18.0	5	10.9	61	15.2	15	13.5	14	7.0	5	14.3	0		26	13.1	28	11.7	321	14.6
⑥兼業	7	0.8	1	2.2	5	1.2	1	0.9	0	0.0	0	0.0	0		2	1.0	1	0.4	17	0.8
	78	8.9	2	4.3	45	11.2	8	7.2	4	2.0	5	14.3	0		16	8.0	19	7.9	182	8.3
⑦家業の手伝い	37	4.2	3	6.5	35	8.7	3	2.7	8	4.0	1	2.9	0		18	9.0	16	6.7	133	6.1
	44	5.0	1	2.2	35	8.7	5	4.5	2	1.0	2	5.7	0		10	5.0	8	3.3	112	5.1
⑧起業準備	6	0.7	0	0.0	6	1.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0		1	0.5	3	1.3	19	0.9
	55	6.3	2	4.3	31	7.7	5	4.5	2	1.0	4	11.4	0		10	5.0	9	3.8	123	5.6
⑨地域活動	92	10.5	4	8.7	56	13.9	18	16.2	20	10.0	5	14.3	1		27	13.6	25	10.5	257	11.7
	54	6.2	1	2.2	33	8.2	9	8.1	4	2.0	2	5.7	0		15	7.5	18	7.5	143	6.5
⑩社会・文化活動	93	10.7	12	26.1	80	19.9	13	11.7	13	6.5	11	31.4	1		45	22.6	25	10.5	311	14.2
	72	8.2	3	6.5	33	8.2	9	8.1	10	5.0	5	14.3	0		18	9.0	22	9.2	182	8.3
⑪スキルアップ学習	62	7.1	3	6.5	21	5.2	7	6.3	14	7.0	4	11.4	2		14	7.0	7	2.9	137	6.2
	238	27.3	9	19.6	63	15.7	24	21.6	43	21.5	7	20.0	1		46	23.1	46	19.2	493	22.4
⑫電話等他者との会話	165	18.9	17	37.0	62	15.4	18	16.2	39	19.5	7	20.0	1		41	20.6	33	13.8	397	18.1
	68	7.8	0	0.0	36	9.0	5	4.5	13	6.5	2	5.7	0		21	10.6	19	7.9	173	7.9
⑬他者と過ごす	270	30.9	25	54.3	114	28.4	29	26.1	70	35.0	12	34.3	2		65	32.7	86	36.0	707	32.2
	199	22.8	11	23.9	76	18.9	16	14.4	36	18.0	6	17.1	0		34	17.1	41	17.2	439	20.0

趣味・娯楽

1 ネット上での投稿	86	9.9	9	19.6	50	12.4	17	15.3	11	5.5	8	22.9	0		17	8.5	23	9.6	234	10.7
	45	5.2	0	0.0	27	6.7	1	0.9	5	2.5	3	8.6	0		14	7.0	14	5.9	118	5.4
2 絵画等作品制作	51	5.8	3	6.5	19	4.7	8	7.2	8	4.0	5	14.3	1		9	4.5	6	2.5	115	5.2
	98	11.2	2	4.3	44	10.9	10	9.0	27	13.5	5	14.3	1		22	11.1	15	6.3	236	10.7
3 自宅でのテレビ・読書	494	56.6	33	71.7	206	51.2	67	60.4	106	53.0	17	48.6	2		115	57.8	122	51.0	1203	54.8
	184	21.1	7	15.2	61	15.2	15	13.5	44	22.0	8	22.9	1		41	20.6	32	13.4	405	18.4
4 家庭菜園・盆栽	47	5.4	1	2.2	13	3.2	10	9.0	13	6.5	5	14.3	0		18	9.0	12	5.0	122	5.6
	77	8.8	4	8.7	42	10.4	13	11.7	20	10.0	2	5.7	0		27	13.6	23	9.6	220	10.0
5 リラクゼーション	55	6.3	9	19.6	21	5.2	7	6.3	23	11.5	5	14.3	0		18	9.0	24	10.0	169	7.7
	166	19.0	11	23.9	69	17.2	17	15.3	35	17.5	3	8.6	0		32	16.1	41	17.2	395	18.0

6 コンピュータゲーム	181	20.7	11	23.9	91	22.6	20	18.0	27	13.5	4	11.4	2		46	23.1	44	18.4	435	19.8
	82	9.4	2	4.3	39	9.7	4	3.6	12	6.0	1	2.9	1		19	9.5	17	7.1	183	8.3
7 囲碁・将棋・麻雀	14	1.6	2	4.3	9	2.2	2	1.8	6	3.0	1	2.9	1		4	2.0	5	2.1	44	2.0
	57	6.5	2	4.3	42	10.4	7	6.3	8	4.0	3	8.6	0		23	11.6	17	7.1	164	7.5
8 稽古・習い事	34	3.9	4	8.7	10	2.5	5	4.5	12	6.0	2	5.7	0		10	5.0	5	2.1	85	3.9
	135	15.5	4	8.7	48	11.9	19	17.1	42	21.0	7	20.0	0		37	18.6	30	12.6	338	15.4
9 サークル活動	92	10.5	4	8.7	58	14.4	10	9.0	21	10.5	5	14.3	0		17	8.5	22	9.2	236	10.7
	127	14.5	4	8.7	55	13.7	18	16.2	25	12.5	5	14.3	0		27	13.6	36	15.1	305	13.9
10 買い物・グルメ・旅行	330	37.8	25	54.3	148	36.8	40	36.0	68	34.0	17	48.6	0		83	41.7	65	27.2	806	36.7
	296	33.9	15	32.6	107	26.6	35	31.5	66	33.0	8	22.9	1		58	29.1	73	30.5	688	31.3
11 芸能、コンサート	119	13.6	6	13.0	48	11.9	14	12.6	36	18.0	8	22.9	0		30	15.1	33	13.8	310	14.1
	157	18.0	8	17.4	67	16.7	11	9.9	38	19.0	7	20.0	0		34	17.1	36	15.1	377	17.2
12 スポーツ	262	30.0	16	34.8	99	24.6	27	24.3	63	31.5	8	22.9	1		41	20.6	72	30.1	607	27.6
	321	36.8	17	37.0	123	30.6	36	32.4	50	25.0	7	20.0	2		55	27.6	79	33.1	711	32.4
13 アウトドア・釣りなど	202	23.1	6	13.0	90	22.4	19	17.1	28	14.0	5	14.3	0		30	15.1	35	14.6	427	19.4
	266	30.5	4	8.7	105	26.1	24	21.6	36	18.0	8	22.9	0		52	26.1	74	31.0	590	26.9
14 競馬・競輪・パチンコ	99	11.3	6	13.0	71	17.7	9	8.1	7	3.5	1	2.9	0		28	14.1	28	11.7	254	11.6
	58	6.6	0	0.0	41	10.2	2	1.8	4	2.0	1	2.9	0		19	9.5	20	8.4	151	6.9
15 身体を休める	226	25.9	13	28.3	113	28.1	27	24.3	44	22.0	11	31.4	1		45	22.6	48	20.1	542	24.7
	178	20.4	11	23.9	78	19.4	15	13.5	40	20.0	8	22.9	0		32	16.1	24	10.0	398	18.1
	873	100.0	46	100.0	402	100.0	111	100.0	200	100.0	35	100.0	3		199	100.0	239	100.0	2197	100.0

上段は今、時間を費やしていること
下段は今後、時間を費やしたいこと

パーソル総合研究所がインターネットで調査した「副業に関する意識調査」結果（インターネットによるアンケート調査）によると、正社員で現在副業している人は10.9%で、今後したいとする人は41.0%にのぼること。女性や若年層で高い割合になるようです。副業している人の中では、本業と副業合わせた1週間の労働時間が70時間を超える人が1割に達し、過重労働で「体調を崩した」とする人が13.5%、「本業に支障をきたす」とする人が13.0%に及ぶとし、安易な副業に警鐘を鳴らしています。

6、「自主的な学習」は6割

問6では勤務時間外の私的な時間に自主的に学習していることがあるかを聴いています。「語学」学習では全体では8.6%に留まるものの、20代では13.2%を占め、販売職(15.9%)、専門・技術職(13.2%)でも1割を超えています。最も多いのは「趣味についての知識」学習で32.5%に及びます。「資格取得のため」の学習は11.3%と1割強ですが、20代では21.9%を占めます。「していない」人は40.9%で、6割の人が何らかの自主的な学習をしています。

表—14 問6、勤務時間外で自主的に学習していることは(性別・年代別)

	男性		女性		白紙		合計		10代		20代		30代		40代		50代		60代		白紙	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
①語学	149	8.6	31	9.2	9	7.1	189	8.6	1	5.9	56	13.2	51	8.6	40	6.6	30	7.3	8	7.3	3	10.0
②仕事に活かせる専門知識	267	15.4	33	9.8	9	7.1	309	14.1	0	0.0	68	16.0	110	18.5	79	13.0	36	8.8	11	10.0	5	16.7
③資格取得のための勉強	206	11.9	35	10.4	7	5.5	248	11.3	2	11.8	93	21.9	67	11.2	53	8.7	25	6.1	6	5.5	2	6.7
④一般教養を身につける	203	11.7	24	7.1	7	5.5	234	10.7	1	5.9	49	11.5	62	10.4	54	8.9	49	12.0	17	15.5	2	6.7
⑤趣味についての知識	610	35.2	77	22.8	28	22.0	715	32.5	7	41.2	174	40.9	188	31.5	182	29.8	122	29.8	33	30.0	9	30.0
⑥起業・開業への知識	54	3.1	7	2.1	6	4.7	67	3.0	0	0.0	16	3.8	19	3.2	17	2.8	12	2.9	2	1.8	1	3.3
⑦していない	662	38.2	171	50.6	65	51.2	898	40.9	9	52.9	124	29.2	238	39.9	279	45.7	194	47.4	43	39.1	11	36.7
⑧その他	11	0.6	3	0.9	1	0.8	15	0.7	0	0.0	1	0.2	1	0.2	6	1.0	4	1.0	3	2.7	0	0.0
合計	1732	100.0	338	100.0	127	100.0	2197	100.0	17	100.0	425	100.0	596	100.0	610	100.0	409	100.0	110	100.0	30	100.0

表—15 問6、勤務時間外で自主的に学習していることは(業務内容別)

	①販売		②事務		③管理		④専門・技術		⑤清掃・包装		⑥製造		⑦建設		⑧輸送・運転		⑨サービス		⑩保安		⑪農林漁業		⑫その他		白紙	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
①語学	20	15.9	35	7.9	11	9.8	65	13.2	4	8.5	21	5.7	2	28.6	10	5.4	4	4.3	0	0.0	0	0.0	10	9.2	7	3.4
②仕事に活かせる専門知識	33	26.2	47	10.6	13	11.6	105	21.4	3	6.4	29	7.9	0	0.0	23	12.4	11	12.0	1	16.7	0	0.0	19	17.4	25	12.0
③資格取得のための勉強	19	15.1	51	11.5	10	8.9	71	14.5	4	8.5	30	8.2	0	0.0	16	8.6	14	15.2	1	16.7	0	0.0	11	10.1	21	10.1
④一般教養を身につける	24	19.0	52	11.7	12	10.7	58	11.8	7	14.9	17	4.6	1	14.3	22	11.8	8	8.7	1	16.7	0	0.0	13	11.9	19	9.1
⑤趣味についての知識	34	27.0	129	29.0	44	39.3	177	36.0	13	27.7	124	33.7	5	71.4	70	37.6	33	35.9	1	16.7	0	0.0	29	26.6	56	26.9
⑥起業・開業への知識	5	4.0	10	2.2	2	1.8	17	3.5	1	2.1	6	1.6	0	0.0	8	4.3	4	4.3	0	0.0	0	0.0	5	4.6	9	4.3
⑦していない	33	26.2	200	44.9	39	34.8	158	32.2	27	57.4	187	50.8	0	0.0	74	39.8	32	34.8	4	66.7	0	0.0	51	46.8	93	44.7
⑧その他	0	0.0	3	0.7	2	1.8	4	0.8	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.9	4	1.9
白紙		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0
合計	126	100.0	445	100.0	112	100.0	491	100.0	47	100.0	368	100.0	7	100.0	186	100.0	92	100.0	6	100.0	0	0.0	109	100.0	208	100.0

7、妻依存の育児

問7、8では、育児や介護が必要になった時の対応について尋ねました。育児や介護に要する時間は勤務外の私的自由時間にはならず、社会的家族労働で拘束性の高い時間です。その育児が必要なときに主に担うのは誰かについて、「自分」とした人は全体では15.9%に留まり、育児盛りであろう30代でも14.3%にとどまります。男性では「自分」とした人は8.4%で、女性では49.1%に及びます。男性では「配偶者」とした人が34.7%ある一方で、「夫婦・家族で協力」が46.6%と、5割近くを占めます。女性では

「配偶者」とした人は僅か2.1%で、「夫婦・家族で協力」も26.6%にとどまり、男性は少し自分に甘めで、女性には「夫婦・家族で協力」とは認識されていないようです。やはり、実態としては「妻に依存した育児」とみるべきではないでしょうか。就労形態別にもみてみたいところですが、非正規社員の標本数の少なさを考慮すると評価しづらいようです。

表—16 問7、主に育児を担うのは(性別・年代別)

	男性		女性		白紙		合計		10代		20代		30代		40代		50代		60代	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
①自分	146	8.4	166	49.1	37	29.1	349	15.9	2	11.8	74	17.4	85	14.3	112	18.4	60	14.7	10	9.1
②配偶者	601	34.7	7	2.1	23	18.1	631	28.7	3	17.6	70	16.5	223	37.4	196	32.1	111	27.1	23	20.9
③夫婦・家族で	807	46.6	90	26.6	39	30.7	936	42.6	10	58.8	244	57.4	257	43.1	227	37.2	155	37.9	34	30.9
④親	29	1.7	7	2.1	8	6.3	44	2.0	2	11.8	13	3.1	7	1.2	11	1.8	9	2.2	1	0.9
⑤その他	18	1.0	14	4.1	0	0.0	32	1.5	0	0.0	4	0.9	2	0.3	8	1.3	12	2.9	6	5.5
白紙	131	7.6	54	16.0	20	15.7	205	9.3	0	0.0	20	4.7	22	3.7	56	9.2	62	15.2	36	32.7
合計	1732	100.0	338	100.0	127	100.0	2197	100.0	17	100.0	425	100.0	596	100.0	610	100.0	409	100.0	110	100.0

8、介護の担い手、男女に意識の差

次に問8で「介護」が必要なとき、主に担うのは誰か聴きました。ここでも、「夫婦・家族で協力」が最も多く、全体では45.8%を占めますが、女性では「自分」が担うとした人が48.8%と5割近くになり、「夫婦・家族で協力」は33.4%と3分の1に留まります。やはり、育児や介護については女性に相当な負荷がのしかかっているとみるべきでしょう。「充実した生活」「ワーク・ライフ・バランス」の確立のためには、「社会的支援策」「夫婦・家族で協力」の体制が不可欠のようです。

表—17 問8、イ主に介護を担うのは誰ですか(性別・年代別)

	男性		女性		白紙		合計		10代		20代		30代		40代		50代		60代	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
①自分	386	22.3	165	48.8	48	37.8	599	27.3	3	17.6	92	21.6	149	25.0	189	31.0	128	31.3	28	25.5
②配偶者	243	14.0	4	1.2	9	7.1	256	11.7	1	5.9	14	3.3	74	12.4	84	13.8	57	13.9	24	21.8
③夫婦・家族で	846	48.8	113	33.4	48	37.8	1007	45.8	5	29.4	238	56.0	285	47.8	263	43.1	169	41.3	35	31.8
④兄弟・子供	126	7.3	16	4.7	11	8.7	153	7.0	4	23.5	44	10.4	48	8.1	33	5.4	17	4.2	7	6.4
⑤施設に預ける	70	4.0	18	5.3	7	5.5	95	4.3	4	23.5	25	5.9	22	3.7	20	3.3	17	4.2	4	3.6
⑥その他	9	0.5	3	0.9	0	0.0	12	0.5	0	0.0	1	0.2	7	1.2	1	0.2	3	0.7	0	0.0
白紙	52	3.0	19	5.6	4	3.1	75	3.4	0	0.0	11	2.6	11	1.8	20	3.3	18	4.4	12	10.9

合計	1732	100.0	338	100.0	127	100.0	2197	100.0	17	100.0	425	100.0	596	100.0	610	100.0	409	100.0	110	100.0
----	------	-------	-----	-------	-----	-------	------	-------	----	-------	-----	-------	-----	-------	-----	-------	-----	-------	-----	-------

9、期待度高い社会的支援サービス

また、介護にあたって、支援サービスを利用する意向の有無については（問8ロ）、「利用可能なサービスは全て利用」が40.0%、「一部利用」（37.0%）と合わせると77%もの人が支援サービスを利用するとしています。年齢が高いほど「全て利用」とする人の割合が高く、老老介護が迫る年代の切実さを表しているようです。「利用したくない」はわずか8.6%にとどまり、社会的支援サービスへの期待の高さを示しています。

表—18 問8、ヘルパーなど介護支援サービスは利用しますか（性別・年代別）

	男性		女性		白紙		合計		10代		20代		30代		40代		50代		60代	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
①利用可能なサービスは全て利用する	656	37.9	152	45.0	71	55.9	879	40.0	5	29.4	122	28.7	210	35.2	264	43.3	209	51.1	56	50.9
②一部利用する	673	38.9	113	33.4	27	21.3	813	37.0	4	23.5	173	40.7	247	41.4	234	38.4	125	30.6	22	20.0
③利用できない	51	2.9	9	2.7	8	6.3	68	3.1	1	5.9	6	1.4	18	3.0	15	2.5	19	4.6	7	6.4
④利用したくない	166	9.6	15	4.4	9	7.1	190	8.6	6	35.3	63	14.8	60	10.1	33	5.4	19	4.6	7	6.4
⑤その他	90	5.2	23	6.8	3	2.4	116	5.3	0	0.0	38	8.9	28	4.7	31	5.1	12	2.9	7	6.4
白紙	96	5.5	26	7.7	9	7.1	131	6.0	1	5.9	23	5.4	33	5.5	33	5.4	25	6.1	11	10.0
合計	1732	100.0	338	100.0	127	100.0	2197	100.0	17	100.0	425	100.0	596	100.0	610	100.0	409	100.0	110	100.0

10、「仕事優先」は3割

問9では仕事と生活のバランスはどのようなものか、その実態と意識を聴きました。男女とも「仕事、家庭、私生活ともに優先」が最多で43.2%を占めますが、「仕事優先」も28.8%と3割近くを占めています。特に男性では「仕事優先」が3割を超え、30代では34.4%、そして、勤務時間が一日平均「11時間以上」の人では「仕事優先」が43.3%にのびります。少ない標本数ではありますが、バイトや有期社員では正社員に比べて、「仕事優先」は少なく、「私生活優先」は高い比率になっています。全体としてのイメージは、「長時間労働」—「残業」—「癒し、休息を求め」—「趣味は希薄」—「家事・育児・介護は過負担」——このような実態と意識が浮き彫りになっていると言えます。

表—19 問9、仕事と私生活のバランスはどんな状態ですか（性別）

	男性		女性		白紙		合計	
	人	%	人	%	人	%	人	%
①仕事優先	524	30.3	77	22.8	31	24.4	632	28.8
②私生活優先	257	14.8	55	16.3	32	25.2	344	15.7
③地域・社会生活優先	23	1.3	0	0.0	3	2.4	26	1.2
④仕事、私生活ともに優先	753	43.5	161	47.6	35	27.6	949	43.2
⑤仕事、社会生活共に優先	34	2.0	4	1.2	6	4.7	44	2.0
⑥私生活、社会生活共に優先	23	1.3	3	0.9	4	3.1	30	1.4
⑦どれも大切にしている	83	4.8	29	8.6	12	9.4	124	5.6
⑧その他	7	0.4	2	0.6	1	0.8	10	0.5
白紙	28	1.6	7	2.1	3	2.4	38	1.7
合計	1732	100.0	338	100.0	127	100.0	2197	100.0

表—20 問9、仕事と私生活のバランスはどんな状態ですか（年代別）

	10代		20代		30代		40代		50代		60代以上		白紙		合計	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
①仕事優先	5	29.4	119	28.0	205	34.4	168	27.5	109	26.7	18	16.4	8	26.7	632	28.8
②私生活優先	2	11.8	74	17.4	83	13.9	105	17.2	61	14.9	15	13.6	4	13.3	344	15.7
③地域・社会生活優先	0	0.0	2	0.5	7	1.2	10	1.6	4	1.0	3	2.7	0	0.0	26	1.2
④仕事、私生活ともに優先	0	0.0	199	46.8	256	43.0	259	42.5	177	43.3	42	38.2	10	33.3	949	43.2
⑤仕事、社会生活共に優先	2	11.8	7	1.6	7	1.2	13	2.1	11	2.7	4	3.6	0	0.0	44	2.0
⑥私生活、社会生活共に優先	1	5.9	3	0.7	7	1.2	8	1.3	8	2.0	3	2.7	0	0.0	30	1.4
⑦どれも大切にしている	1	5.9	17	4.0	24	4.0	37	6.1	27	6.6	12	10.9	6	20.0	124	5.6
⑧その他	0	0.0	0	0.0	2	0.3	3	0.5	4	1.0	1	0.9	0	0.0	10	0.5
白紙	0	0.0	4	0.9	5	0.8	7	1.1	8	2.0	12	10.9	2	6.7	38	1.7
合計	17	100.0	425	100.0	596	100.0	610	100.0	409	100.0	110	100.0	30	100.0	2197	100.0

表—21 問9、仕事と私生活のバランスはどんな状態ですか(勤務時間別)

	正社員		短時間正		有期・契約		派遣社員		パート		その他		白紙	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
①仕事優先	575	29.4	0		25	23.1	1		8	25.8	5		18	29.0
②私生活優先	295	15.1	2		25	23.1	5		7	22.6	0		10	16.1
③地域・社会生活優先	21	1.1	0		1	0.9	0		0	0.0	1		3	4.8
④仕事、私生活ともに優先	864	44.1	1		46	42.6	3		9	29.0	7		19	30.6
⑤仕事、社会生活共に優先	40	2.0	0		2	1.9	0		0	0.0	1		1	1.6
⑥私生活、社会生活共に優先	28	1.4	0		0	0.0	0		0	0.0	2		0	0.0
⑦どれも大切にしている	103	5.3	0		5	4.6	1		7	22.6	1		7	11.3
⑧その他	9	0.5	0		0	0.0	0		0	0.0	1		0	0.0
白紙	23	1.2	0		4	3.7	0		0	0.0	7		4	6.5
合計	1958	100.0	3		108	100.0	10		31	100.0	25		62	100.0

11、時間の使い方、満足度は半々

問10では、日頃の時間の使い方について満足度を尋ねました。「働き方」については「普通」が37.0%と最も多いものの、「不満」「やや不満」も合わせて26.1%にのびります。これは年代による差異はなさそうです。

私生活での時間の使い方については、「満足」「やや満足」合わせて32.0%で、「不満」「やや不満」合わせての29.2%と大差のないものとなっています。女性の方が若干ですが満足度は高いようです。また、正社員より有期・契約社員やパート・アルバイトの方が私生活での時間の使い方に満足感が高い割合になっています。

表—22 問10、今の働き方で(時間の使い方で)満足していますか(性別年代別)

	男性		女性		白紙		合計		10代		20代		30代		40代		50代		60代～	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
①満足	195	11.3	44	13.0	16		255	11.6	6	35.3	67	15.8	74	12.4	56	9.2	36	8.8	15	13.6
②やや満足	369	21.3	82	24.3	22		473	21.5	3	17.6	102	24.0	117	19.6	152	24.9	81	19.8	16	14.5
③普通	644	37.2	134	39.6	35		813	37.0	2	11.8	164	38.6	226	37.9	210	34.4	156	38.1	46	41.8
④やや不満	292	16.9	49	14.5	21		362	16.5	4	23.5	54	12.7	100	16.8	111	18.2	77	18.8	9	8.2
⑤不満	171	9.9	16	4.7	24		211	9.6	2	11.8	26	6.1	69	11.6	59	9.7	44	10.8	6	5.5
白紙	61	3.5	13	3.8	9		83	3.8	0	0.0	12	2.8	10	1.7	22	3.6	15	3.7	18	16.4
合計	1732	100.0	338	100.0	127		2197	100.0	17	100.0	425	100.0	596	100.0	610	100.0	409	100.0	110	100.0

表—23 問 10、今の私生活の時間の使い方に満足していますか(年代別)

	男性		女性		白紙		合計		10代		20代		30代		40代		50代		60代以上	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
①満足	175	10.1	32	9.5	16	12.6	223	10.2	5	29.4	67	15.8	53	8.9	48	7.9	35	8.6	14	12.7
②やや満足	375	21.7	84	24.9	20	15.7	479	21.8	4	23.5	104	24.5	138	23.2	137	22.5	74	18.1	21	19.1
③普通	566	32.7	111	32.8	36	28.3	713	32.5	4	23.5	137	32.2	199	33.4	195	32.0	137	33.5	30	27.3
④やや不満	362	20.9	72	21.3	18	14.2	452	20.6	2	11.8	75	17.6	134	22.5	130	21.3	88	21.5	16	14.5
⑤不満	142	8.2	20	5.9	27	21.3	189	8.6	2	11.8	25	5.9	61	10.2	54	8.9	37	9.0	7	6.4
白紙	112	6.5		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0
合計	1732	100.0	338	100.0	127	100.0	2197	100.0	17	100.0	425	100.0	596	100.0	610	100.0	409	100.0	110	100.0

12、改善のキーワードは休日増と給与

そして、現状の働き方や生活の仕方の中で、「ワーク・ライフ・バランス上必要だと思うこと」について問 11 で尋ねました。職場の制度上の点では、「休日の増加」(34.0%)が最も多く、次いで「給与条件の改善」(33.8%)「職務分担や業務の見直し、効率化」(26.8%)「要員増」(25.0%)「残業時間の削減」(24.1%)と続きます。総務省の意識調査でも、「働き方改革」上で求められる改善テーマは「休日増」「労働時間短縮」「人員補充」がビッグ3になっています。政府が音頭を取ろうとしている「副業の解禁」「短時間正社員制度」「在宅ワーク」などではないようです。「ワーク」と「ライフ」、そして「育児・介護」を含めたバランスの確保のためには、休日増・労働時間短縮を中心にした「働き方改革」と、育児や介護についての社会的サービスや支援策がともに求められているものと思われます。そうした中で「充実したライフ像」も生まれるのではないのでしょうか。

表—24 問 11、ワーク・ライフ・バランス上必要だと思うことは(性別)

	男性		女性		白紙		合計	
	人	%	人	%	人	%	人	%
①残業時間の削減	441	25.5	52	15.4	36	28.3	529	24.1
②休日の増加	604	34.9	101	29.9	43	33.9	748	34.0
③年次有給休暇制度の改善	185	10.7	46	13.6	9	7.1	240	10.9
④交替勤務の改善	95	5.5	11	3.3	6	4.7	112	5.1
⑤短時間正社員制度	39	2.3	31	9.2	8	6.3	78	3.6
⑥在宅ワークの導入	117	6.8	33	9.8	4	3.1	154	7.0
⑦非正規の正社員化	136	7.9	33	9.8	13	10.2	182	8.3
⑧給与条件の改善	618	35.7	94	27.8	31	24.4	743	33.8
⑨実効性ある時間管理	162	9.4	26	7.7	5	3.9	193	8.8
⑩職務分担や効率化	470	27.1	98	29.0	20	15.7	588	26.8
⑪要員体制増	469	27.1	60	17.8	21	16.5	550	25.0
⑫副業・兼業の許可	192	11.1	31	9.2	14	11.0	237	10.8
⑬特になし	111	6.4	28	8.3	6	4.7	145	6.6
白紙		0.0		0.0		0.0		0.0
合計	1732	100.0	338	100.0	127	100.0	2197	100.0

表—25 問 11、ワーク・ライフ・バランス上必要だと思うことは(年代別)

	10代		20代		30代		40代		50代		60代以上		白紙		合計	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
①残業時間の削減	3	17.6	102	24.0	156	26.2	164	26.9	86	21.0	10	9.1	8		529	24.1
②休日の増加	5	29.4	140	32.9	192	32.2	203	33.3	166	40.6	25	22.7	17		748	34.0
③年次有給休暇制度の改善	3	17.6	40	9.4	76	12.8	66	10.8	36	8.8	15	13.6	4		240	10.9
④交替勤務の改善	2	11.8	16	3.8	27	4.5	40	6.6	25	6.1	2	1.8	0		112	5.1
⑤短時間正社員制度	0	0.0	12	2.8	15	2.5	25	4.1	20	4.9	6	5.5	0		78	3.6
⑥在宅ワークの導入	0	0.0	36	8.5	47	7.9	38	6.2	30	7.3	2	1.8	1		154	7.0
⑦非正規の正社員化	1	5.9	26	6.1	54	9.1	52	8.5	32	7.8	14	12.7	3		182	8.3
⑧給与条件の改善	2	11.8	161	37.9	202	33.9	170	27.9	153	37.4	48	43.6	7		743	33.8
⑨実効性ある時間管理	1	5.9	34	8.0	73	12.2	53	8.7	29	7.1	2	1.8	1		193	8.8
⑩職務分担や効率化	1	5.9	116	27.3	196	32.9	182	29.8	74	18.1	13	11.8	6		588	26.8
⑪要員体制増	2	11.8	100	23.5	169	28.4	172	28.2	87	21.3	16	14.5	4		550	25.0
⑫副業・兼業の許可	3	17.6	68	16.0	58	9.7	64	10.5	38	9.3	2	1.8	4		237	10.8
⑬特になし	3	17.6	36	8.5	23	3.9	35	5.7	34	8.3	13	11.8	1		145	6.6
白紙																
合計	17	100.0	425	100.0	596	100.0	610	100.0	409	100.0	110	100.0			2197	100.0

表—26 問 11、ワーク・ライフ・バランス上必要だと思うことは(業種別)

	製造業		卸・小売業		運輸・建設		通信・情報		公務		教育・学習		医療・福祉		サービス業		その他		白紙	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
①残業時間の削減	216	24.7	3	6.5	117	29.1	20	18.0	41	20.5	5	14.3	1		43	21.6	66	27.6	17	19.1
②休日の増加	334	38.3	10	21.7	160	39.8	26	23.4	53	26.5	9	25.7	0		63	31.7	54	22.6	39	43.8
③年次有給休暇制度の改善	115	13.2	10	21.7	54	13.4	7	6.3	13	6.5	0	0.0	0		7	3.5	23	9.6	11	12.4
④交替勤務の改善	40	4.6	5	10.9	39	9.7	3	2.7	1	0.5	2	5.7	0		17	8.5	2	0.8	3	3.4
⑤短時間正社員制度	29	3.3	0	0.0	14	3.5	4	3.6	12	6.0	0	0.0	0		8	4.0	10	4.2	1	1.1
⑥在宅ワークの導入	76	8.7	2	4.3	12	3.0	12	10.8	15	7.5	3	8.6	0		13	6.5	18	7.5	3	3.4
⑦非正規の正社員化	41	4.7	1	2.2	53	13.2	24	21.6	15	7.5	7	20.0	0		28	14.1	9	3.8	4	4.5
⑧給与条件の改善	303	34.7	19	41.3	156	38.8	44	39.6	38	19.0	13	37.1	0		79	39.7	67	28.0	24	27.0
⑨実効性ある時間管理	82	9.4	7	15.2	30	7.5	11	9.9	13	6.5	3	8.6	0		19	9.5	19	7.9	9	10.1
⑩職務分担や効率化	259	29.7	17	37.0	84	20.9	36	32.4	70	35.0	13	37.1	1		40	20.1	59	24.7	9	10.1
⑪要員体制増	177	20.3	15	32.6	120	29.9	33	29.7	63	31.5	7	20.0	1		67	33.7	54	22.6	13	14.6
⑫副業・兼業の許可	118	13.5	5	10.9	35	8.7	18	16.2	15	7.5	1	2.9	0		21	10.6	16	6.7	8	9.0
⑬特になし	47	5.4	4	8.7	21	5.2	4	3.6	20	10.0	3	8.6	2		9	4.5	32	13.4	3	3.4
白紙	10	1.1	0	0.0	7	1.7	1	0.9	9	4.5	4	11.4	0		5	2.5	5	2.1	13	14.6
合計	873	100.0	46	100.0	402	100.0	111	100.0	200	100.0	35	100.0	3		199	100.0	239	100.0	89	100.0

環境面などでの改善点については、「上司や同僚の理解・支援」(40.9%)がトップですが、「自分自身の意識改革」(38.3%)もほぼ同程度の必要性が指摘されています。また、「社会的支援制度」(20.8%)や「施設やサービスの充実」(13.0%)など社会的な制度設計もその重要度が指摘されています。何事もですが、まずは「自己点検」と「自主性の確立」、そして環境へのチャレンジでしょうか。もちろん、社会的にそのような環境づくりを行うことも大切かと思われます。

表—27 問 11、ロ ワーク・ライフ・バランス上必要だと思うこと(環境等＝性別)

	男性		女性		白紙		合計	
	人	%	人	%	人	%	人	%
①自分の意識改革	692	40.0	115	34.0	34	26.8	841	38.3
②上司や同僚の理解	726	41.9	132	39.1	41	32.3	899	40.9
③家族、親戚の支援	166	9.6	35	10.4	10	7.9	211	9.6
④友人・仲間の支援	184	10.6	40	11.8	8	6.3	232	10.6
⑤相談機関の充実	132	7.6	21	6.2	8	6.3	161	7.3
⑥施設やサービスの充実	212	12.2	57	16.9	16	12.6	285	13.0
⑦社会的支援の充実	365	21.1	69	20.4	23	18.1	457	20.8
⑧特にない	192	11.1	51	15.1	17	13.4	260	11.8
白紙	75	4.3	21	6.2	11	8.7	107	4.9
合計	1732	100.0	338	100.0	127	100.0	2197	100.0

まとめにかえて

ワーク・ライフ・バランスは、働く時間も生活時間もともに良質で、良好なバランスのもとで享受することを主な内容としています。

ワーク・ライフ・バランスの実現をめざして、政府・内閣は「仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）憲章」を掲げ（2007年12月18日）、「仕事と生活が両立しにくい現実」を見て、実態として

「安定した仕事に就けず、経済的に自立することができない」、

「仕事に追われ、心身の疲労から健康を害しかねない」、

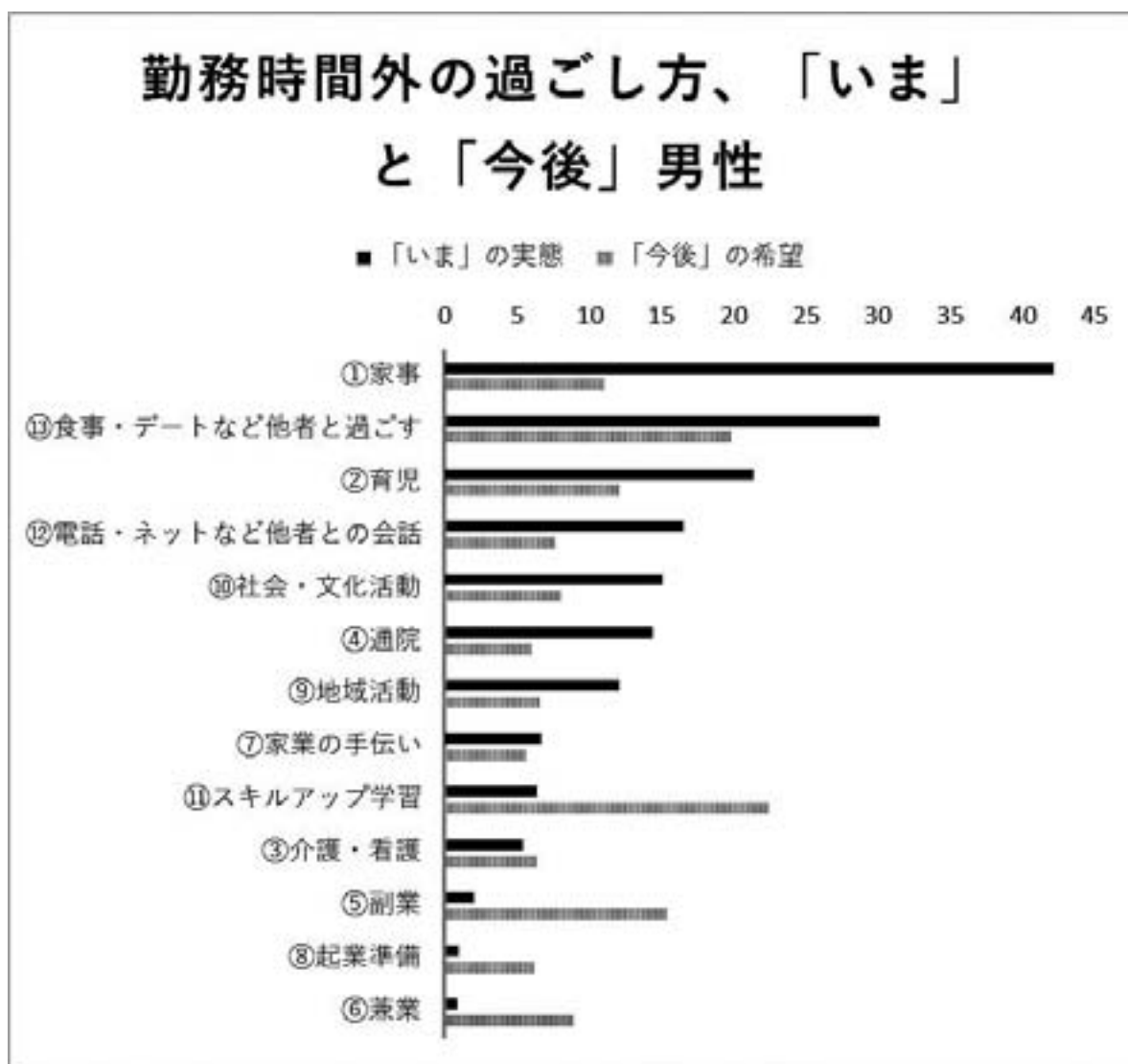
「仕事と子育てや老親の介護との両立に悩む」

などが生じていることを指摘しています。そしてその根幹に「働き方の二極化等」があること、特に「生活の不安を抱える正社員以外の労働者が大幅に増加する一方で、正社員の労働時間は高止まりしたままであること」と指摘しています（内閣府HP「仕事と生活の調和」推進サイト、2019年3月11日採録）。

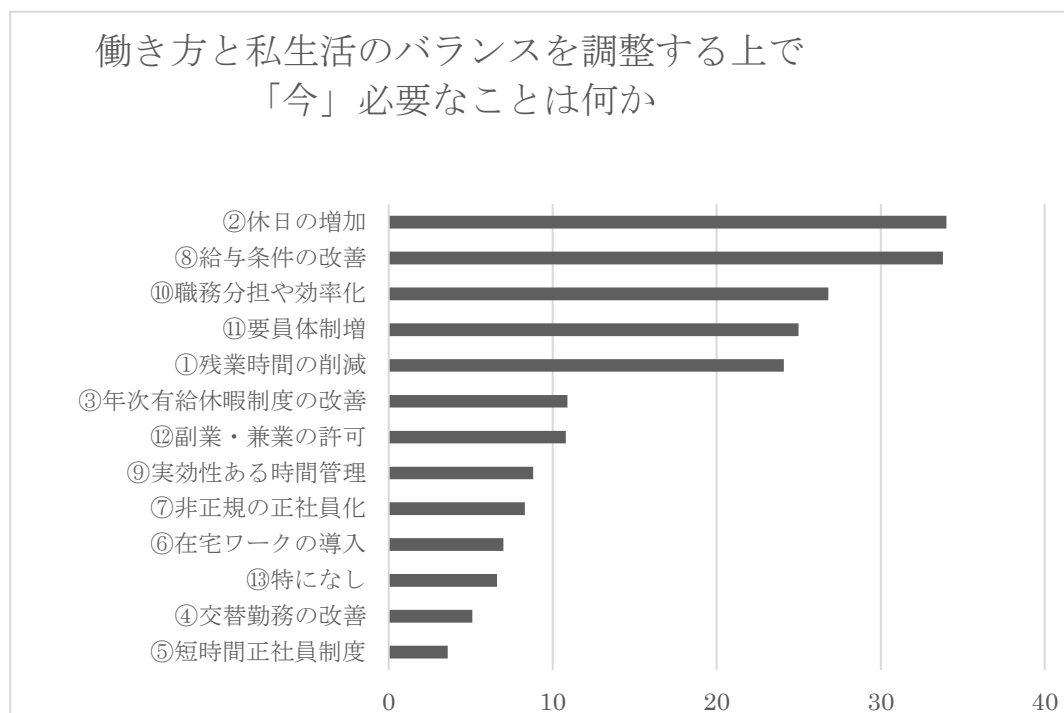
今回の調査対象者は正規社員がほとんどで、この限りで「安定した仕事に就けず、経済的に自立することができない」事態は想定しにくい。しかしながら、そのために「仕事に追われ、心身の疲労から健康を害しかねない」事態や「仕事と子育てや老親の介護との両立に悩む」ことがありうるのではないかと、また、そうしたことがなくとも、ワーク・ライフ・バランスの実現を目指して仕事や生活に関して希望願望要求を抱いている

のではないかと考えられます。

調査結果の中で、勤務時間外の過ごし方について、「今」と「今後」について、たとえば、回答者の中で圧倒的に多かった男性について見ると、「今」の実態と「今後」の希望とがほとんどの項目で大きくかけ離れています。



また、調査結果において端的に「働き方と私生活のバランスを調整する上で」今必要なことは何かとたずねた（問 11）についてみると、職場の制度上の点では、「休日の増加」（34.0%）が最も多く、次いで「給与条件の改善」（33.8%）「職務分担や業務の見直し、効率化」（26.8%）「要員増」（25.0%）「残業時間の削減」（24.1%）と続いています。働き方や休日給与条件に関する希望が前面に見られる結果となっています。



ワーク・ライフ・バランスの実現を目指すとき、給与や休日など労働条件、あるいは働き方の改善などが、依然として重要であることが明らかとなっていて、決して「副業」や「短時間正社員」、「在宅ワーク」など「就労の仕方」にあるのではないようです。

その上で、生活の質を向上させたいとする意欲を後押しする施策が期待されるということでしょう。